



6/29 ふれあい福祉運動会進行係



7/6「県観光フェスタ」能美市ブース



7/9 寺井地区シルバーオリンピック



7/10 寺井中学校 福祉授業



7/9 寺井地区シルバーオリンピック



7/21 環境イベント さらい「キャットルナイト」



7/20 秋常町・新保町・末寺町 合同防災訓練



7/25 寺井中学生を連れて一緒に 高齢者施設でボランティア



8/2 寺井中学校 環境ボランティア活動



8/3 能美市民ホール ランティアフェスティバル



8/20 粟生町見守り交流会レクリエーション



8/31 大成町で 自衛消防団との 合同防災講演会



9/3 防災講演 根上校下婦人会 「地域の女性に 求められる防災力」

能美市議会議員

「絆さずな」～能美市政報告～



- 市政報告会「能美市政を語る会」(1p)
- 9月本会議 一般質問 (2p～3p)
- 老人会青年部を推進し地域福祉への理解と向上を
- 障がい者グループホームについて
- 新議長・副議長選出 (1p)
- 交通対策特別委員長を拝命 (3p)
- 活動報告 (4p)
- 障がい者の就労支援について
- 子ども発達障害支援について

田中策次郎 市政報告会「能美市政を語る会」開催！

平成26年7月5日(土)19時～ 三道山町公民館



佐々木 紀衆議院議員、山田 修路参議院議員、酒井 悌次郎能美市長 井出 敏朗県議会議員にご臨席戴き、国・県・市の立場より能美市政への思いをご講話戴きました。あいにく当日に県外公務の宮本 周司参議院議員からも市政への熱い思いのメッセージを戴きました。

会の最後には田中策次郎が「議会基本条例施行での議会と議員の役割り」「本年度予算と各事業の内容説明と公共施設の役割り」について話しました。当日は地元三道山町内をはじめ市内各町より100名を超える多くの方々にご参加戴きまして、誠にありがとうございました。



「米田 敏勝議長」「居村 清二副議長」が選出されました (能美保守の会)

9月議会最終日、東 正幸議長の退任に伴い後任に米田議長・居村副議長が選出されました

能美市議会議員 田中 策次郎

〒923-1124 石川県能美市三道山町チ 16-2
 TEL 0761-58-5037 FAX 0761-58-5209
 Mail 3926@e-mail.jp http://3926jp.net/



友達申請してね☆



質 「老人会青年部」を推進し地域福祉への理解と向上を

2025年には75歳以上の後期高齢者が現在より600万人増加し2200万人となります。高齢者の介護には地域の理解と協力が必要と言われおり、家族だけの介護には限界があり、追い詰められ、在宅介護を担う家族の80%がストレスを感じ、35%が憎しみさえ感じたとあります。介護家族の87%が社会や地域のサポートが必要であると答えています。

市でも高齢者の見守り事業や日常生活支援などの事業を展開しており、加えて本年度の新規事業として「在宅医療・介護推進事業」の地域連携の体制づくりを行っています。しかし今後はさらに組織的な地域福祉ボランティアの支援が必要と考えます。いま注目されるのは元気な高齢者です。老人会組織の中に「老人会青年部」をつくり元気な高齢者に介護や福祉の担い手になってもらえないでしょうか。

「老人会青年部」は、全国でいくつか取り組みが行われています。社会貢献と青年部という事で、老人会入会の抵抗感が少なくなり会員増加にもつながっています。高齢者が互いに助け合う事が社会・地域で求められており、高齢者の生きがい・健康づくりにもつながると考えます。

●地域福祉の理解と向上を元気な高齢者の協力で行う取り組みについて、市長の見解を求めます。

答 酒井 梯次郎 市長

高齢者の力を活かした実践的な活動支援を検討

高齢者みずからボランティア活動の担い手になることが、社会貢献はもとより介護予防にも十分効果があると聞いている。各種事例を参考にしながら高齢社会に立ち向かわなければならないと考える。

認知症に対する社会の認識不足がある事も感じる。認知症の方は内面に複雑な思いを持っておいでる。自閉的になり徘徊するなどの循環が重なると聞く、認知症は接し方次第で症状が好転する事例もあり、周りの人がいかに認知症患者を理解し支えるかが大切である。

再 市長答弁の通り、認知症の方は何も分からない訳ではなく思い通りに出来ない本人が一番つらいのです。人が関わり見つけ触れ合う介護が必要。高齢者が支え合う仕組みづくりに活かして欲しい。

質 障がい者グループホームについて

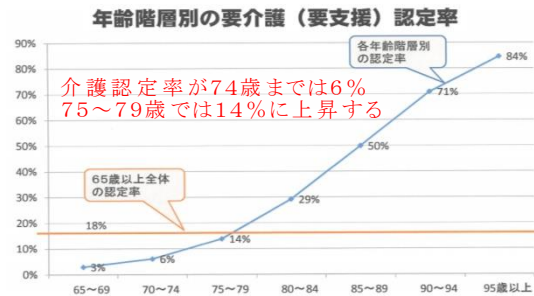
能美市には身体、精神、知的の障がい者の方が約2200名いらっしゃいます。障害者自立支援法が2013年に障害者総合支援法となり、本年度から完全施行されています。これまで、たびたび法律と制度が変わる事で障がい者の方や家族に混迷を与える事となっています。障害者総合支援法の目的が修正され、社会で生活する1人の人間として尊重し、社会で生活するために必要な支援をする法律となりました。障がい者家族の大きな心配は親亡き後の生活は大丈夫なのか不安であると聞きます。アパートで独り暮らしするのは簡単ではなく共同生活で生活を支えるグループホーム制度があります。このグループホームが障害者総合支援法でケアホームと一元化し生活の場である生活援助と、身体障害や歳を重ねた後の介護への移行にも有効と考えられています。

- 市内には、現在どのくらいの障がい者グループホームがあるのか
- また障がい者グループホームを新しく作る時、どのような支援を行っているか

答 勝山 與四久 健康福祉部長

整備には国の規定があり国や県の橋渡し役となって支援していく

市内には民間のグループホームが6か所で定員は28名、空きが1人。今後は福祉施設入所者や精神障害入院患者の方々への地域での移行支援が進む事が予想され、グループホーム利用者数の増加が見込まれる。福祉サービス提供者と連携を図り能美市障害者プランでの目標値を維持、達成に取り組んでいく。



能美市民の力を活かす！

市民の声を市政に活かしています！

質 障がい者の就労支援について

障がい者が地域で自立した生活を送るために働き収入を得、喜びを感じる事は社会生活を送る上でとても重要です。昨年、滋賀県湖南市「障がい者就労支援センター」に視察に行きました。湖南市は人口5万4千人、障がい者数も2100名と能美市と同規模であり毎年多くの方が企業に一般就労しています。また地元の企業から障害者施設に年間68件の作業の発注も受けています。

能美市障害福祉計画でも働く場の確保を基本方針の中に示しています。優良企業が多く立地する能美市においても、このような一般就労や下請け作業など、企業との連携が取れないでしょうか？

- 市では障がいに合わせた、どのような就労支援を行っているのか
- 一般就労を希望しているうち年間何人が就職しているのか
- 平成25年4月1日に障害者優先調達推進法が施行されたが、現在の実績状況は

答 勝山 與四久 健康福祉部長

障害者就労施設からの受注拡大は地域で支え合い助け合う「ともに生きる社会」に進むと考え、物品調達を市としても積極的に取り組んでいる。

障がい福祉作業所「一歩」は今後の能美市の福祉就労の場の確保として期待しており、現在市内事業所は6か所となり就労支援の定員は122名となった。福祉就労を介しての一般就労はきわめて少なく、今後は障害のある方の働く意欲や自信を尊重して社会参加への促進を図っていく。



障がい者が待ち望み市事業支援で完成した障がい福祉作業所「一歩」

再 現在、福祉作業所で行っているペットボトルキャップの分別破碎作業や紙箱作りなどの作業も利益が上がる仕事ではありません。全国的に、福祉作業所の時給は200円も無いとの事です。働く喜びと社会参加の機会としての「福祉的就労」といっても、少し働き甲斐が無いのではないのでしょうか。市としても加えて、付加価値が上がるような観光マスコット「のみまるくん」のストラップや市の企画商品の作製を発注し、様々な場所でこれらの商品の販売を推進するなど、市民が障がいを持つ人の尊厳を大切にしながら社会で共に生きることが出来る施策が出来ないか？

答 勝山 與四久 健康福祉部長

今後、今までの縦割りではなく産業建設部、市民生活部と地元企業とも連携をとり進めていきたい

質 子ども発達障害の支援について

発達障害には幼児期の早期の発見が重要であり、その後学齢期、就労期まで障害を通じた、保険・福祉・医療・教育・就労の関係機関の連携支援が必要とされています。

市ではこれまでも「児童発達支援事業」を行っており、加えて昨年度からは市の特徴ある取り組みとして「子ども発達支援センター」を設置しています。

- ここ近年の市内の発達障害者の人数はどのように推移しているのか
- 現在の相談体制と支援体制はどのように進んでいるのか

答 勝山 與四久 健康福祉部長

相談支援体制は関係機関が連携し行い、専門相談員も配置している

発達障害児の厳密な実数は国としても把握しにくい現状にありますが、支援が必要な児童生徒として24年度297名、25年度359名と増加している。小集団指導では子育て支援センターの保育士も相談員を兼務している。相談件数は昨年度の321件から今年度8月末現在593件に増加しており、小集団指導、保護者からの依頼による個別指導の療育支援を行っている。関係機関支援では全保育園対象の研修、小中学校や地域からの依頼による講師派遣、各種支援会議の参加も行っている。

発達障害の相談過去最多9383件

「身近で対応」市町職員育成へ
発達障害の相談は、個別指導を行う人数は164人だった。県は今年、市の要請に応じ、臨床心理士を派遣して研修を義務づけ、発達障害が疑われる人の



いつも多くの方々にご支援戴き感謝します！ありがとうございます

6月議会で「交通対策特別委員長」に選出されました。

『地域交通の利便性向上に関する事』『コミュニティバスの充実に関する事』の2つの調査事項が負託されました。責任を受け止めしっかりと取り組んでまいります。これにより田中策次郎は、下記4つの常任委員会・特別委員会を務めさせていただきます。

- 産業経済常任委員会 副委員長
- 議会運営委員
- 交通対策特別委員会 委員長
- 広報委員